

NEWS RELEASE

2014年9月25日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
トムラ・ジャパン株式会社

関西・甲信越エリアのイトーヨーカドーに ペットボトル店頭回収・リサイクルシステムを本格導入！

株式会社セブン&アイ・ホールディングス(東京都千代田区、代表取締役社長<COO>:村田紀敏)とトムラ・ジャパン株式会社(東京都大田区、代表取締役社長:ソニー ソーダバーグ)は、2014年9月27日から10月中旬に掛けて、関西・甲信越エリアのイトーヨーカドー7店舗に、新しいペットボトル店頭回収・リサイクルシステムの導入を始めます。

(六地蔵店・東大阪店・奈良店・津久野店・アリオ八尾・アリオ鳳・甲府昭和店)

※津久野店は10月中旬に導入予定

※甲府昭和店は10月8日に運用開始

このシステムは、ペットボトルの店頭回収に自動回収機を使用。回収した資源を効率よく運び、国内でリサイクルする一貫したシステムです。2012年から導入を始め、既にセブン&アイグループの関東エリアを中心に228店舗(うちイトーヨーカドー109店舗)※1に設置しております。

資源回収には、トムラ・ジャパン社製のペットボトル自動回収機を使用。特徴として、ペットボトルを投入すると、電子マネーnanacoのポイントに交換することができるリサイクルポイント※2が貯まる仕組みとなっています。消費者の皆さまに楽しみながらリサイクルに参加いただきます。

また、自動回収機に投入されたペットボトルは、機械の中で自動的に選別・圧縮され、体積が約3分の1になります。※3 店頭回収量が多い店舗の作業負担や保管スペースの軽減、店舗からリサイクル工場までの輸送の効率化に効果を発揮します。

今回、回収したペットボトル資源は、株式会社エフピコの岐阜県のリサイクル工場に運ばれ、再び食品トレイとして生まれ変わります。※4 店頭回収からリサイクルまで、一貫した効率のよいシステム運用で、省資源化、CO2削減に貢献します。消費者が自分の排出した資源のゆくえを見届けられることは、信頼感を生み、更なる環境活動への協力の促進につながると確信します。今後も消費者にわかりやすいリサイクルの仕組みを目指していきます。

また、新たな試みとして、9月27日から10月中旬に掛けて導入する7店舗のうち5店舗※5では古紙回収機をセットにして導入します。回収機に投入された新聞、雑誌などの古紙は、国内リサイクルルートを通じて再生紙などに生まれ変わります。

【ご参考、注釈】

※1: 2014年8月末現在

※2: リサイクルポイントについて

ペットボトル1本につき、2リサイクルポイント付与します。
古紙1kgにつき、10リサイクルポイント付与します。
500リサイクルポイントためると、50nanacoポイントと交換できます。

※3: 甲府昭和店では、破砕式の回収機を使用。減容率は8分の1。

※4: 甲府昭和店は協栄産業でリサイクル

※5: イトヨーカドー六地蔵店、イトヨーカドー東大阪店、イトヨーカドー奈良店
イトヨーカドー津久野店、イトヨーカドー甲府昭和店

■関西エリア導入店舗

イトヨーカドー六地蔵店 (9/27より運用開始)
イトヨーカドー東大阪店 (9/27より運用開始)
イトヨーカドー奈良店 (9/27より運用開始)
イトヨーカドー津久野店 (10月中旬より運用開始)
アリオ八尾 (9/27より運用開始)
アリオ鳳 (9/27より運用開始)

■甲信越エリア

イトヨーカドー甲府昭和店 (10/8より運用開始)

以上